

事業報告書

1 支援団体名	特定非営利活動法人 水と地球
2 事業名称	野生動物と共存を目指した森林環境の保全事業
3 実施日時	1) 植林活動: 平成 30 年 3 月 2 日(金)10:00~12:00 2) 啓発活動: 平成 29 年 12 月 2 日(土) 8:00~15:00
4 実施場所	1) 伊佐市大口小木原豆漬 2392 番地(豆漬国有林): 川内川水系十曾川右岸 2) 鹿児島県 県民の森: 鹿児島県 始良市 北山 3464-119
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 1) 森林環境の保全事業として、伊佐森林組合と協働して、十曾川右岸の「林の森」に 275 本のシラカシを植えました。シカなどの食害対策として、従来、侵入防止用防護ネットを用いていましたが、有効ではなかったため、今回は、食害防止材「ハイトシェルター」を苗木ごとに設置し、2018 年 3 月 2 日に完了しました。 2) 九州電力㈱が主催した「Play Forest 2017」において、地層をモデルにペットボトルで濾過装置を作って、色水の浄化実験と襟裳岬の植林により海が浄化された事例をクイズ形式で紹介し、森の土の浄化機能と植林の価値について説明しました。
	(事業実施効果) 1) 今回は、「野生動物と共存する!」を目当てに、苗木ごとの食害対策を採用し植樹しました。その有効性を検証し、今後の植林方法に役立てたいと考えています。 2) 「森と友達になろう!」「ずっと先まで森を大切にしよう!」を目当てに、子供たちに森の土が持つ「水をきれいにするはたらき」と植林の意義を学んでもらいました。2017 年 12 月 2 日~3 日の 2 日間で 750 名以上の親子が参加しました。
6 参加内訳	総人数 765 名
	(1) 主催者参加 13 名
	(2) 日本人参加 ((1) を除く) 752 名
	(3) 外国人参加 ((1) を除く) 0 名
7 今後の方針	水源の涵養や魚を育てるなどの森林機能を修復するための植林活動と森林の持つ価値について子供たちへ啓発活動を行った。今回の植林方法の有効性を検証して、今後の植林活動に役立てたいと考えています。

植林作業完了集合写真



伊佐森林組合の植林指導



食害防止材「ハイトシェルター」設置



植林個所(275本のシラカシを植林)



色水の浄化実験_屋内会場@Play Forest 2017



屋外会場@Play Forest 2017

